

第3回ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 大西 浩明

- ◇実施日時 2023 年 7 月 4 日（火）19 時～21 時
- ◇方法 ZOOM によるオンライン開催
- ◇参加者数 29 名
- ◇内容 ESD の学習理論 中澤静男教授
ESD の授業づくり「単元構想図の作成の仕方」 大西浩明特任准教授

ESD についての基本的理解

人間性を育てるために、実社会を教材に、説明―納得型ではなく、問題解決型の学習を展開する
「関わり」「つながり」を尊重できる個人
地球や人類社会の持続性の向上を

1. 学習指導要領に即した学びの構築

学習指導要領の基盤的理念としての ESD

→ 日本中すべての学校で ESD の理念を基盤に据えた学習が展開される

「見方・考え方の育成」

- ① 知識・技能 事実的知識（断片的知識）
- ② 思考力・判断力・表現力 知識の構造化
覚えるより考えさせる授業を
- ③ 学びに向かう力・人間性

「主体的・対話的で深い学び」

- ① 子どもにとって切実感・必要感があるもの。興味・関心があるもの。
- ② 一斉授業ではない 一問一答式×
- ③ 子どもの生き方や考え方・行動に影響を与えるような学び
知識+感動（発見・共感。驚き）のある学び
他の学習にも転移する汎用性のある学び

その他、ESD の特徴

- ① 多様な他者の参加を推奨
- ② 五感を通した学びを展開し、行動化を促す
- ③ 現状だけでなく、過去と未来という時間軸を持ち込んでクリティカルシンキング、長期的思考力を育てる
- ④ 答えのない問いの追究
- ⑤ 課題解決のために、「自分ができることを考え、行動化」を促す

2. 持続可能な社会の実現のために本当に大切なもの

- ① 国際協力
- ② 技術革新
- ③ 新しいシステム（制度） ここまでは企業や行政によるトップダウン
- ④ 多くの市民の参加・協力（ボトムアップ）← 教育の役割 ESD

3. ESD で育てたい価値観

- ① 世代間の公正を重視する
- ② 世代内の公正を重視する
- ③ 自然環境や生態系保存を重視する
- ④ 人権・文化を尊重する
- ⑤ 幸福感を大切にする

利他的行動、自然との交歓、人との交歓 ← その価値観を育てる活動
Care できる子どもを育てる（気にかける、思いやる）

4. 持続不可能な状況に「気づく」ために

ソマティックマーカー仮説

生き残りの確率を高めるためのもの（生物・人類の歴史において獲得した）

もともとは先天的に備わっているものだが、経験や教育によって鍛えることができる

→ ソマティックマーカー装置を育てることが、持続不可能な状況をつくり出すものに気づく
その改善に向けた行動化を促す

持続可能な社会づくりに効果がある

→ 繰り返し学んだり経験したりすることで、ソマティックマーカー装置が洗練される
学校教育全体、様々な教科・領域、学校行事で取り組む

ソマティックマーカー装置を育てるために

知識の網の目をつくる 網の目が変なものを引っ掛けて信号を発してくれる

繰り返し経験すること、繰り返し学習することで、網の目を細かくできる

見えていても気付けない「脳」の特徴

脳に意識化を促すことで「気付く」ことができるようになる

そのための方策

- ・ 仲間とともに学ぶ（友達からの刺激）
- ・ 記憶の蓄積を図る（繰り返し学ぶ・経験する、多様な場面で多様な方法で学ぶ）
- ・ 感性を伴って学ぶ（現地での学習、体験的な学習のよさ）

多様な ESD 実践を展開することで、気づく力を高める！

5. ESD で育てる見方・考え方（ESD の視点）

多様性、相互性、有限性。公平性、連携性、責任性

6. ESD で育てる資質・能力

クリティカルシンキング

システムズシンキング

長期的思考力

コミュニケーション力

協働的問題解決力

メタ認知力・自己評価力

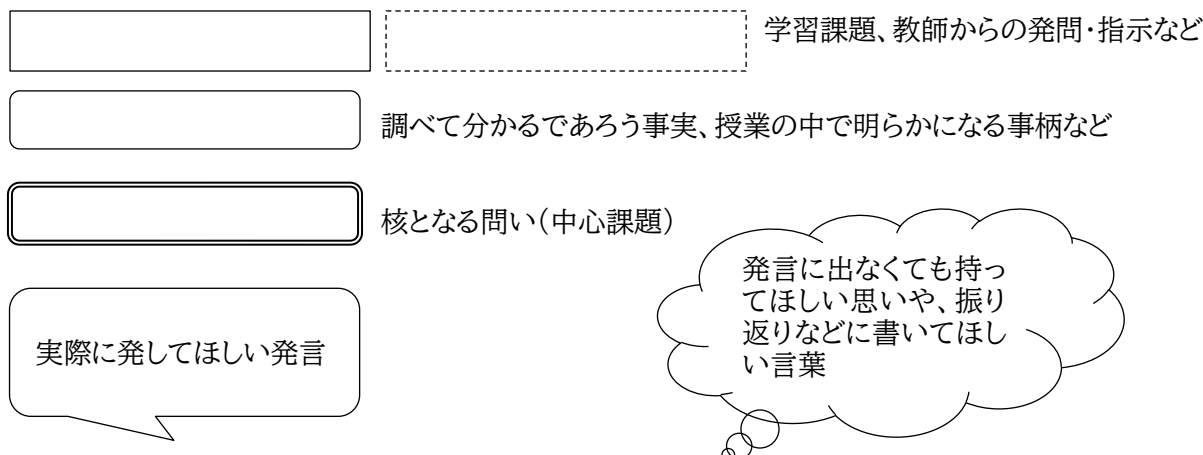
ESD の授業づくり（単元構想図の作成について）

◆どれだけ具体的に授業をイメージできるか

子どもの反応（発言、疑問、思い、どう動くか・・・）をイメージしないと、具体的にはならない

単元構想図

具体的な授業をイメージして、児童・生徒が発するであろう言葉や、もつであろう思いなどをマップ化して、学習の流れを可視化したもの



◆問いの質を高める

探究的な学びを進めていくには、問いの質が重要！

- ・単元の目標につながるもの
 - ・単元の流れで必然性があるもの
 - ・答えがいくつあるもの
- 言葉やその使い方にこだわる

子どもの疑問や思いから醸成されたもの
単なる教師からのトップダウンではないもの

- ① 単元を通して核となる問い
- ② ①を深めるための問い
- ③ ①を発展的に考える問い

単元展開の中で、こういうことについて、考えさせたい、話し合わせたい、自分なりの行動計画を立てさせたいというものを明確にできるなら、どの問いから考えてもいいと思います。

◆ESD の授業を構想する際には・・・

その題材(教材)を通して学習することで、

- ・どんな ESD の見方・考え方を働かせることができるのか
- ・どんな ESD の資質・能力を育てることができるのか
- ・どのように ESD の価値観を変革させようとするのか
- ・どのような ESD 的な行動化を求めようとするのか

視点、資質・能力、価値観については、項目だけを羅列するのではなく、学習内容に落とし込んで、その説明を書く。

p.3 参照



SDGsの何を達成することに貢献するのか

入江泰吉の風景写真

校区に写真美術館があるね。
入江泰吉という人を知ってる？

写真美術館…？
あるのは知ってるけど…。

飛鳥や奈良の「たからもの」（自由研究）

飛鳥校区のお地藏さん

きれいな写真だなあ。
奈良っていいなあ。
どうやって撮るのかな。

飛鳥や奈良にはい
ろんな『たからも
の』があるなあ。

入江泰吉ってどんな人？ 写真美術館って？

- ・ 入江泰吉は、飛鳥小学校の卒業生
- ・ 奈良の風景や仏像を写真に撮り続けた人
- ・ 戦後、アメリカに仏像が持ち去られてしまう前に記録に残そうとした
- ・ 写真美術館は、入江泰吉の死後、1992年「奈良市写真美術館」として開館した西日本初の写真専門の美術館。入江の作品約8万点を所蔵している。

なぜ、入江泰吉は奈良を撮ることにこだわったのだろう？

写真美術館へ行ってみよう。入江泰吉の話を聞こう

奈良のすばらしさが
伝わってくる写真が
たくさんある！

イメージ通りの写真
が撮れるまで何時
間、何日も待ったな
んて…。

自分が納得する写真
を撮るために努力し
続けたすごい人なん
だなあ。

入江泰吉は奈良のことをどう思っていたのだろう？

絶対に文化財を守ろ
う、奈良を守ろうと思
っていたのでは。

奈良のことが本当に
心から大切に思い、好
きだったのでは。

自分が大好きな奈良
を写真に撮って多く
の人に知ってもらい
たかったのでは。

もっともっと奈良の
ことを写真に残した
かっただろうな。

入江泰吉のように、こだわりを持って自分が美しいと思う飛鳥や奈良の風景を写真に撮ろう
（写真美術館の方に、写真の撮り方を教えてもらおう）

発表会をしよう

いつもなら何とも思
わないような風景で
も、撮ってみるとき
れいなんだなあ。

どの写真もきれい
で、飛鳥や奈良に
は美しいところが
たくさんあるんだ
なあ。

入江さんが愛し、撮
り続けた奈良は、本
当にすばらしいと
ころなんだなあ。

入江さんの写真は
やっぱりすごいな
あ。さすがプロの
写真家だなあ。

飛鳥や奈良というところは、どういうところなのだろう？

飛鳥や奈良って、こん
なにすてきなところ
なんだ。

すばらしいものがた
くさんあるから、も
っとみんなに知ってほ
しい。

飛鳥や奈良のことを
もっと知っていきた
い。